対象地域：高知県

再生課題：サンゴ群集の再生

竜串の自然と共生した地域づくり協議会

たつくし　しぜん　きょうせい　ちいき

再生目標　自然資源を将来にわたり保全し続け、その重要性を啓発し、それを持続可能な形で利活用することで、自然と共生した活力ある地域づくりを進めることを目指す。

○ 協議会事務局
高知県土佐清水市
○ 対象地域
高知県土佐清水市
（足摺宇和海国立公園）
○ 協議会　：H18. 9. 9 設立
○ 全体構想：H20. 3.28 策定
○ 実施計画：H22. 1.28 策定
（R7.3現在）

エンタクミドリイシ

衰退したサンゴ

竜串湾は、高知県土佐清水市南西部に位置し、温暖な黒潮の影響を受けてイシサンゴ類をはじめ、多くの海中生物が生息しています。中でもシコロサンゴ群集はその規模の大きさから学術的にも高い価値を有しています。

しかし、竜串湾では開発や産業の影響による水質悪化およびサンゴ食害生物の大発生等に加え、平成13年の高知県西南豪雨により河川から大量の土砂が湾内に流入したことで多くのサンゴが死滅しました。そこで、流域全体の視点から、かつての造礁サンゴ類を中心とした海中景観と生態系を取り戻すための取組を進めてきました。

平成26年度には、目標はほぼ達成できたことから、今後は新たな協議会体制において「自然と共生した活力ある地域づくり」や自然資源の持続可能な形での利活用に重点をおき、「体制づくり」「担い手確保」に向けて実践していきます。

自然再生の手法

- 竜串湾内に堆積した土砂の除去
- 河川流域の土砂の発生源対策
- オニヒトデの駆除

湾内に流れ込んだ流木

下層植生が発達していないヒノキ林地